

2008年2月13日から15日をnano week 2008として、以下の展示会・会議等が東京ビッグサイトで開催されます。

●ナノテク・ネットワークプロジェクト事業説明会 2月13日(水) 14:45 -17:40 2月14日(木) 13:30 -17:25	●nano tech 2008国際ナノテクノロジー総合展 2月13日(水)-2月15日(金) 10:00 -18:00(*17:00)
●日独ナノテク若手研究者・ワークショップ 2月14日(木) 9:00 -17:30	●ナノバイオExpo 2008 ●ASTEC2008 ●METEC '08 ●Convertech Japan 2008 ●新機能性材料展 2008
●第6回ナノテク総合シンポジウム JAPAN NANO 2008 2月15日(金) 10:00 -17:40	●NBCIビジネス戦略ロードマップ紹介(講演) 2月13日(水) 13:00 -14:30
●アジアナノテク若手ワークショップ 2月15日(金)	●ナノICTシンポジウム2008 2月13日(水)
●ナノテクノロジー国際標準化ワークショップ 2月13日(水)	●科学技術振興調整費ワークショップ - ナノテクノロジーの研究開発推進と社会受容 - 2月14日(木) 10:00 -17:00
●第2回表面技術会議 2月13日(水) 12:15 -17:50 2月14日(木) 13:15 -15:45	●NEDOシンポジウム:ナノテクノロジーを支える動的計測技術の将来展望~ナノテクのボトルネックへの挑戦~ 2月14日(木) 14:00 -16:20
●第3回ナノバイオ国際シンポジウム 2月13日(水) 13:00 -16:45 2月14日(木) 13:00 -16:55	

nano week <http://www.ics-inc.co.jp/nanotech/nanoweek2008.html>

組織委員会

- 委員長：岸 輝雄 (独)物質・材料研究機構
- 委員：荒川 泰彦 東京大学
大森 慎吾 (独)情報通信研究機構
川合 知二 大阪大学
小林 誠 (独)日本学術振興会
寒川 賢治 国立循環器病センター研究所
田中 一宜 (独)産業技術総合研究所 (独)科学技術振興機構
玉尾 皓平 (独)理化学研究所
中村 道治 (株)日立製作所
宮沢 和男 (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構

プログラム委員会

- 委員長：荒川 泰彦 東京大学
- 委員：相田 卓三 東京大学
荒井 滋久 東京工業大学
荒木 良剛 (株)三菱化学
大野 英男 東北大学
岡野 光夫 東京女子医科大学
香川 豊 東京大学
河田 聡 大阪大学
黒部 篤 (株)東芝
高柳 英明 東京理科大学
樽茶 清悟 東京大学
難波 啓一 大阪大学
橋詰 富博 (株)日立製作所
平尾 一之 京都大学
宝野 和博 (独)物質・材料研究機構
前田 瑞夫 (独)理化学研究所
盛 英三 国立循環器病センター研究所
湯本 潤司 日本電信電話(株)



りんかい線 国際展示場駅下車徒歩約7分
○大崎駅(JR) ←13分⇒ 国際展示場駅 ←5分⇒ 新木場駅(JR、東京メトロ)
*大崎から新宿・大宮方面へJR埼京線相互直通運転

ゆりかもめ(新交通) 国際展示場正門駅下車徒歩約3分
○新橋駅(JR、東京メトロ、都営地下鉄) ←22分⇒ 国際展示場正門駅
○豊洲駅(JR、東京メトロ) ←8分⇒ 国際展示場正門駅

水上バス
○日の出桟橋(JR浜松町駅徒歩約7分) ←20分⇒ 有明客船ターミナル(下船徒歩約2分)

都営バス
○東16系統(豊洲駅前経由):東京駅八重洲口 ←約35分⇒ 東京ビッグサイト ←約5分⇒ 東京レトロポート
○海01系統(豊洲駅前経由):門前仲町 ←約30分⇒ 東京ビッグサイト
○虹01系統:浜松町駅 ←約30分⇒ 東京ビッグサイト

空港バス(リムジンバス・京浜急行バス)
○羽田空港 ←約25分⇒ 東京ビッグサイト
○成田空港 ←約60分⇒ 東京ビッグサイト
○東京シティエアーミナル(TCAT) ←約20分⇒ 東京ビッグサイト
*イベント開催時のみ運行の便もありますので、ご確認ください。

その他直行バス(京浜急行バス)
○横浜駅東口 ←約50分⇒ 東京ビッグサイト

車(首都高速利用の場合)
○都心から(11号台場線・レインボーブリッジ経由)⇒ 台場出入口から約5分
○大井・羽田方面から(湾岸線)⇒ 臨海副都心出入口から約5分
○千葉・葛西方面から(湾岸線)⇒ 有明出入口から約5分

お問い合わせ先 (独)物質・材料研究機構 NIMSナノテクノロジー拠点運営室
Phone: 03-5404-3280 FAX: 03-5404-3290
URL: <http://www.nanonet.go.jp>
E-mail: JAPANNANO@nims.go.jp

Nanotechnology

文部科学省ナノテクノロジー・ネットワークプロジェクト

第6回ナノテクノロジー総合シンポジウム

JAPAN NANO 2008

「役に立つナノテク — 現状と将来 —」

日程：2008年2月15日(金)
場所：東京ビッグサイト(東京都江東区有明)
会議棟1階レセプションホールA,B

使用言語：日本語

参加費：無料

参加申込とプログラムの詳細についてはホームページをご覧ください。
<http://www.nanonet.go.jp/>

主催：(独)物質・材料研究機構

共催：(独)情報通信研究機構、(独)科学技術振興機構、(独)日本学術振興会、(独)理化学研究所、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(独)産業技術総合研究所

後援：文部科学省、総務省、厚生労働省、経済産業省、(社)日本経済団体連合会、ナノテクノロジー・ビジネス推進協議会

協賛：IEEE東京支部、(社)応用物理学会、(社)高分子学会、(社)電気学会、(社)電子情報通信学会、ナノ学会、日本ME学会、(社)日本化学会、(社)日本金属学会、(社)日本顕微鏡学会、日本再生医療学会、(社)日本材料学会、日本人工臓器学会、(社)日本セラミックス協会、日本組織工学会、日本DDS学会、日本バイオマテリアル学会、日本表面科学会、(社)日本物理学会



◆ナノテクノロジーは、21世紀を創造するキーテクノロジーとして、材料、エレクトロニクス、機械、バイオ、創薬などの幅広い分野で近年、ますますその重要性を増しています。第3期科学技術基本計画においても、重点4分野の一つとして広範な分野に大きな波及効果をもたらす基盤として位置づけられており、一層の発展が期待されています。こうしたナノテクノロジー基盤技術の発展のためには、産学官の広範な研究者の連携が欠かせないものと考えられます。

◆文部科学省ナノテクノロジー総合支援プロジェクトにおいて、我が国における中長期的なナノテクノロジー研究開発の現状を紹介し、最先端の研究成果について議論することを目的として2003年より5回のナノテクノロジー総合シンポジウムを開催してまいりました。今回、文部科学省ナノテクノロジー・ネットワークプロジェクトとして第6回ナノテクノロジー総合シンポジウム(JAPAN NANO 2008)を開催、ナノテクノロジー主要分野の国内のキーパーソンにナノテクノロジー研究開発の最前線をレビューしていただくとともに、最新の研究成果を発表していただき、ナノテクノロジーの進展と最新のトピックスを紹介します。

◆JAPAN NANO 2008は、nano tech 2008をはじめとする多くの展示会、国際会議を融合したナノウィークイベントとして開催いたします。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

10:00 - 12:15 オープニングセッション

挨拶 岸 輝雄 (JAPAN NANO 2008 組織委員長、物質・材料研究機構)
文部科学省

特別講演

- 10:15 - 国武 豊喜 (北九州市立大学/理化学研究所) 「ナノ薄膜の最近の展開 —膜(2次元構造)におけるナノテクのポテンシャル—」
- 10:55 - 橋本 和仁 (東京大学) 「ナノマテリアルを利用する環境、エネルギー技術」
- 11:35 - 渡辺 久恒 (半導体先端テクノロジーズ) 「LSIにおけるナノテク材料の進展」

12:15 - 13:15

昼食

13:15 - 15:15 講演 & パネル討論 — 役に立つナノテク・現状と将来 —

◇コーディネーター:

餌取 章男 (科学ジャーナリスト)

◇パネリスト (順不同):

池澤 直樹 (野村総合研究所) 「産業の塩:ナノテクノロジー」

遠藤 守信 (信州大学) 「カーボンナノチューブ、応用の進展」

大林元太郎 (東レ) 「ナノテクノロジーによる機能材料の革新と創製」

平尾 一之 (京都大学) 「フェムト秒レーザーと波面制御素子を用いた三次元一括ナノ加工 —新しいナノ材料創製への試み—」

国武 豊喜 (北九州市立大学/理化学研究所) 特別講演者

橋本 和仁 (東京大学) 特別講演者

渡辺 久恒 (半導体先端テクノロジーズ) 特別講演者

15:15 - 15:30

休憩

15:30 - 17:30 ナノテクノロジーの最近の話題

- 15:30 - 芝 清隆 (癌研究会癌研究所) 「バイオ分子を利用した水中高次ナノ構造形成」
- 16:00 - 一ノ瀬 泉 (物質・材料研究機構) 「新素材としての無機ナノストランド」
- 16:30 - 安達千波矢 (九州大学) 「新しい半導体素材 —有機半導体材料の特長とデバイス展開—」
- 17:00 - 湯浅 新治 (産業技術総合研究所) 「トンネル磁気抵抗素子の開発とデバイス応用」

17:30 - 17:40 クロージング

挨拶 田中 一宜 (JAPAN NANO 2008 組織委員、産業技術総合研究所/科学技術振興機構)